

いわて地誌アーカイブ：第1巻(小本 篇)

# 岩泉・海と小本

東日本大震災を経て、ふるさとを視る・知る・想う  
そして、いっしょに語り合う「写真史料集」

総合政策学部 教員(代表:豊島正幸)

## ● いわて地誌アーカイブ(学部プロジェクト)のねらい

過去の写真収集  
+ 今を撮る  
人の記憶・情報

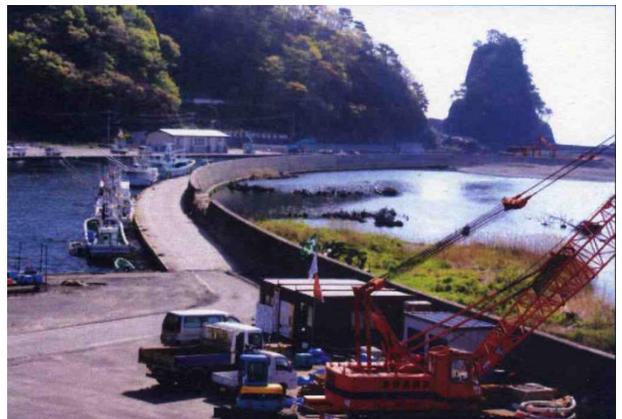
土地の記憶  
読み解きと意味づけ  
+ 関連データの提示

大学教員を交えて  
「写真史料集」を素材に、  
語り合おう、  
学校で、地域で。  
どう歩んできたのか、  
どう歩んでいくのか

「写真史料集-第1巻  
小本篇」の出版

続編の予定：  
第2巻(洋野町 種市 篇)  
第3巻(一関市 北上川 篇)

フィールドの  
事実と記憶を次代へ  
つなごう





わかめの収穫

小本浜  
わかめ布干し

かつて小本浜は、砂浜が広がり、わかめ干しが盛んでした。(昭和初期)



昭和初期 工藤製材所 角材のレールで運搬



7軒の旅館と4軒の料亭があり、労働者や取り引き関係者で賑わった

大正から昭和初期、小本の沖に1000トン級の運搬船(蒸気船)が停泊し、それに舳で丸太、枕木、用材、耐火粘土などを積み込み、多くの雇用が生まれた。集落も拡大し、旅館7軒、料亭4軒など、活況を呈したが--。



昭和28年 小本漁港着工  
平成5年 防潮堤・水門が完成  
平成15年 小本港(工業港)供用開始  
平成23年 東日本大震災津波で、  
一六〇世帯の4分の3が被災。  
もう一度、小本はひとつ!。